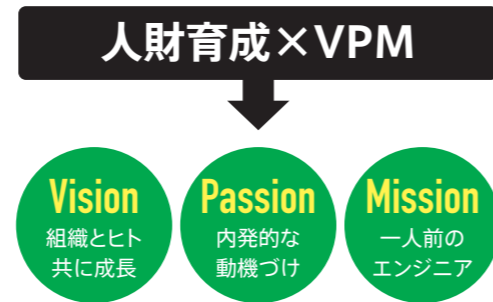


キーワードはVPM

社会問題の一つとされる人手不足の中でも、ひととき深刻なのがIT業界のエンジニア不足。政府の試算によると2020年には約31万人、2030年には約79万人もの人材が不足するとされています。世界中におけるデジタル環境が加速化する中で、日本が遅れをとらないためにも、IT人材の育成は急務とされています。

しかし、実はもうひとつ切実な問題として浮上しているのが「人材の質」です。本当に必要とされるスキルや経験をもった人材がいない、だから企業は常に「人材不足」という問題です。では、この「人材の質」をどのように育てていけばいいのでしょうか？

ETロボコンにそのヒントが隠されています。

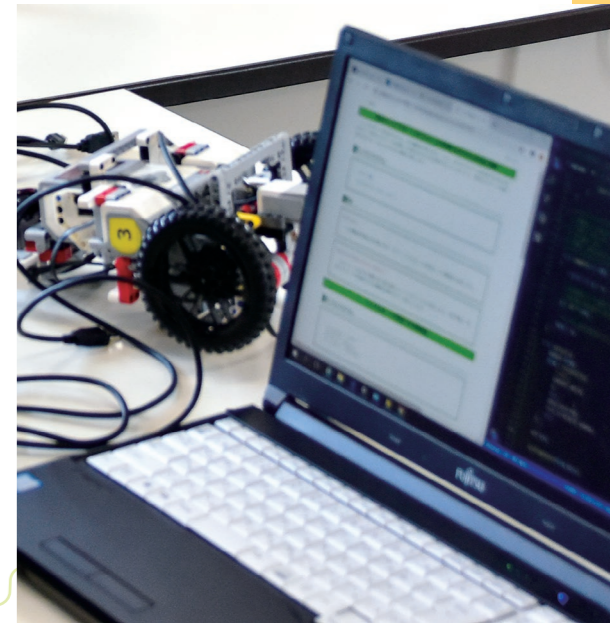


モデルはソフトウェアの「設計図」

ソフトウェアは建築やメカのように目に見えて触れられるものではありません。そのため、ソフトウェアを見える化し、レビューや事前検証、シミュレーションなどを通じて早く品質良く作り上げる必要があります。

モデルはソフトウェアを見える化する設計図です。ソフトウェアは、複雑だったり規模が大きいほどモデルが重要になります。また、多くのシステム開発の現場では、モデルが書ける人材を必要としています。

ETロボコンでは、モデルに重点を置き、参加チームにはモデルの提出を求めています。提出されたモデルは「ソフトウェアの内容を正しく表現できているか」、「課題の有効な解き方を示すモデルになっているか」等の審査により、採点されます。



社会を支える「組み込みシステム」

「組み込みシステム」とは、パソコンやタブレットのような一般的なコンピュータではなく、家電、自動車やオフィス機器、携帯電話など専用機器の制御等のために組み込まれた、特殊用途のコンピュータです。

人工衛星やドローンも、組み込みシステムです。

昨今言われているIoT（インターネット・オブ・シングス）でいえば、「シングス（もの）」の動きを支えており、人手をかけず、故障せずに動き続けることが求められます。組み込みシステム無しでは、私たちの現在の暮らしは成り立ちません。



ETロボコンは世界をリードするエンジニアを育成

ETロボコンは、5年後、10年後に世界をリードするエンジニアの育成を目指し、若手および初級エンジニア向けに、分析・設計モデリング開発にチャレンジする機会を提供しています。

業務での開発は、ほとんどの場合がすでに形になっているものに手を加えるだけの「保守作業」の場合が多いのですが、ETロボコンは、一から設計し、実装、テストという開発工程の一連の流れを、約半年で行うことになります。

学校でソフトウェア開発について勉強している人や、製造業やIT企業に就職した人など、これから「ものづくり」をしていく人がシステム開発の一連の流れを体験することができます。



選べる学びのステージ

	参加対象者	何が学べる？
プログラミング未経験者向け これからソフトウェア開発に携わりたい方 エントリークラス	これからソフトウェア開発に携わる人が、具体的な題材を通じて開発体験を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラミングを初めて学ぶ ●モデリングとは何かを知る ●ソフトウェアの開発を体験する
技術の基礎を学び、スキルを磨く ベーシッククラス	組み込みシステム開発・学習の初級者を対象とし、モデリングを用いたシステム開発技術の基礎を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●モデリングの基礎や基本を一から学ぶ ●システム開発におけるモデリングの重要性について、具体的な題材を通じて理解する
技術を応用できるスキルを磨く アプライドクラス	ベーシッククラスの経験者および組み込みシステム開発における応用学習者を対象とし、より高度な開発課題へモデリング技術を応用できるスキルを学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●複合システムや大規模システムの開発に対し、モデリング技術を応用するスキル ●設計工程だけでなく、システム開発工程の幅広い範囲における様々なモデリング技術